

一 教学入門 ⑤ 立正安国と広宣流布

※立正安国について、語群から空欄に適切な言葉を入れて文章を完成させなさい。

(立正安国) とは「正を立て国を安んずる」との意味です。
御書に「汝須く一身の安堵を思わば先ず(四表の静謐) を構らん者か」「あるよう(自分ひとりだけの安泰を求める考えは仏法ではなく、仏法の生命尊厳の理念が社会の基本原理として確立し、社会の平和繁栄と人々の生活の安穏を実現する)」とを目指します。創価学会の(平和)・(文化)・(教育)・人権などの活動は立正安国の実践そのものです。

平和	文化	教育	立正安国	広宣流布	四表の静謐	自身の幸福
----	----	----	------	------	-------	-------

※広宣流布について、後の語群から適切な言葉を選んで文章を完成させなさい。

※四角の空欄箇所は、語群なしで記入できるように学習して下さい。

釈尊が法華経の中で「我が滅度の後、後の五百歳の中、閻浮提に(広宣流布)して、断絶して悪魔・魔民・諸天・龍・夜叉・鳩槃荼等に其の便を得しむるゝと無かれ」と説いたように、(末法)における世界広宣流布は仏の使命であり、それは(三障四魔)との戦いでもあります。

そして御書には「大願とは(法華弘通)なり」

「日蓮が(慈悲)曠大ならば(南無妙法蓮華経)は万年之外・未来までもながるべし、日本国的一切衆生の盲目をひらける(功徳)あり、(無間地獄)の道をふやぎぬ」と、末法における広宣流布は大聖人の大願であると書かれています。

やがて御書に「日蓮と同意ならば(地涌の菩薩)たらんか」とあるように、大聖人の大願は、末法での出現を予言されていた(地涌の菩薩)に託されています。現在、大聖人の御心のままに世界広宣流布を現実に進めている団体は(創価学会)だけです。

末法	地涌の菩薩	創価学会	南無妙法蓮華経	閻浮提	広宣流布
法華弘通	三障四魔	慈悲	勇氣	功德	無間地獄